

事務事業名		公立保育所民営化・統合事業				事務事業No.	221 - 14			
1. 基本情報										
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名				
福祉部	保育課	保育・子ども園	係長	柴田 麗子	課長	日高 政徳				
施策体系	総合計画	政策	2	行政経営						
		施策	2	公共施設等の最適化と有効活用						
		基本事業	1	公共施設の総合的の管理の推進						
	その他の計画	個別計画	なし							
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市附属機関の設置に関する条例、飯塚市公立保育所・子ども園あり方検討委員会規則									
事業開始年度	平成19年度	事業終了年度	R5		事務事業類型	計画策定事務				
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし		実施計画期間	なし				
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）										
概要	公立保育所・子ども園あり方検討委員会答申を受け、公立保育所等の民間移譲と統廃合・民間委託を実施する。									
対象	働きかける相手・もの	公立保育所（4施設）・公立子ども園（2施設）								
手段	方法・働きかけ（活動指標）	公立保育所等のあり方に関する答申を策定し、今後のあり方に関し必要な事項について調査審議する								
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	公立保育所等の再編整備、統廃合の実施								
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）										
	指標名	単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
	検討委員会の開催	回	検討委員会の開催回数		2	3	3			
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）										
指標	公立保育所統合の実施	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
		件	1	目標値	0	1	0			
説明	年次計画に基づく統合の実施	方向性	達成目標年度	実績	0	1				
		減少	令和5年度							
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
				目標値						
説明		方向性	達成目標年度	実績						
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
				目標値						
説明		方向性	達成目標年度	実績						
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）										
経費区分	一般会計	経常経費			特別会計	-				
予算科目・事業	会計	01 一般会計		款	03 民生費		項	02 児童福祉費		
	大	06 公立保育所統合事業費			中	01 公立保育所統合事業費		目	04 保育所費	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)		
	正職員	0.32	人 2,499	0.32	人 2,543			0.10	人 795	
	任期付職員(保育士)	0.00	人 0	0.00	人 0			0.00	人 0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人 0	0.00	人 0			0.00	人 0	
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人 0	0.00	人 0			0.00	人 0	
	再任用フル	0.00	人 0	0.10	人 456			0.00	人 0	
	再任用短	0.00	人 0	0.00	人 0			0.00	人 0	
	合計	1級フル	0.01	人 28	0.01	人 30			0.00	人 0
		1級パート	0.00	人 0	0.00	人 0			0.00	人 0
		2級パート	0.00	人 0	0.00	人 0			0.00	人 0
人件費計(A)		2,527		3,029		令和4年度の開催回数は2回、令和5年度は3回開催		795		
事業費	直接事業費(B)	67		54				0		
	総事業費(A+B)	2,594		3,083				795		
直接事業費のうち		報酬		47				0		
の主な歳出内訳		費用弁償		7				0		
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)		0		0				0	
	国・県支出金		0		0				0	
	市債		0		0				0	
	一般財源		2,594		3,083				795	
	その他()									

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	やや高い	飯塚市が設置する附属機関である
効率性 評価	高い	この事業により運営の効率化を図るもの
有効性 評価	高い	統廃合計画に基づいて事業をすすめることができた

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	なし
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
なし			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
【成果】	楽市・平恒統合保育所園舎の建設工事をスケジュールに沿ってすすめていくことができた。
【課題】	スケジュールの遅れがあり、予定どおりの開所に向けて、進捗状況を注視する必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	【理由】 統廃合事業の終了
完結	
コスト投入の方向性	【理由】 統廃合事業の終了。
縮小	
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	-
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	-

評価変更理由	成果の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「成果の方向性」は統合、「コスト投入の方向性」は縮小とする。 各会議体の統合を図ることで、会議にかかるコストの縮小に繋げること。
	統合	
	コスト投入の方向性	
	縮小	